



## 「社会を明るくする運動強調月間」 保護司会門別分区による啓発パレード

7月8日、「社会を明るくする運動強調月間」にあわせ、静内地区保護司会門別分区(星野明治分区長)の皆さんによる啓発パレードが行われました。「ふれあいと対話が築く明るい社会」と標語が書かれたプレートを貼った車両は、連なって富川地区を出発し、厚賀地区まで啓発を行いました。

役場本庁舎では、法務大臣メッセージの伝達式が行われ、坂尻直一保護司よりメッセージが読み上げられました。

保護司会では、今後も犯罪や非行のない明るい町を築くことを目的に活動を行います。



## 「少年の主張」日高地区大会開催される 畑山瑠奈さん(門中3年)が最優秀賞

7月2日、日高振興局主催の「少年の主張日高地区大会」が浦河町で行われ、畑山瑠奈さん(門中3年)が管内の中学生の中で最優秀賞に選ばれました。

畑山さんは「夢を叶えるため」をテーマとして、保育士になりたいという畑山さんの夢について、「叶えるためには、努力を重ねることが大切」と力強く発表し、審査員から高い評価を受けました。

9月に開催される全道大会を控え、練習に励む畑山さんは、「全道大会では、今まで以上に練習して、自分の思いを伝えたい」と話していました。



## 全道中学校体育大会出場選手激励会 正々堂々と 精一杯のプレーを！

7月20日、全道中学校体育大会出場選手激励会が門別総合町民センターで開催されました。

予選大会を勝ち抜き、既に全道大会への出場が決まっている3競技26名の選手が招かれ、主催した日高町教育委員会の米澤委員長より「ベストコンディションで試合に臨み、最後まであきらめず、自分に納得のいく試合をして欲しい」と激励を受けました。

出場選手を代表して、卓球で全道大会に出場する池田一樹君(厚賀中学校2年)が「日高町代表として恥じない、正々堂々としたプレーで精一杯頑張ってきます。」と力強く決意の言葉を述べました。



## 大成ロテック株式会社様へ感謝状贈呈 地域のために多くの貢献活動を実施

7月15日、これまでに多くの地域貢献活動を実施された、大成ロテック株式会社様に感謝状が贈呈されました。

同社は、平成22年度、23年度の2カ年にかけて門別総合町民センターの駐車場区画線、アスファルト舗装の補修や周辺清掃を行いました。

感謝状は、三輪町長から同社の平賀北海道支社長に手渡され、町長から感謝の言葉が伝えられました。



## 宇田瑞月さん、鈴木さくらさんに町長賞 明るく社会を目指し、習字展を開催

7月中旬より、第61回「社会を明るくする運動」強化月間に伴う静内地区保護司会門別分区(星野明治分区長)主催の習字展が開催されました。

8月2日には、最高賞である町長賞の授与が行われました。今年の町長賞は、宇田瑞月さん(苫小牧工高2年)と、鈴木さくらさん(門別中2年)のお二人です。

二人は町長から賞状を手渡され、「周りの方への感謝を忘れず、これからも頑張ってください」と激励されました。



## 平成23年度小学生ボランティアスクール ゴミ拾いを通じ環境ボランティアを学習

7月28日、日高町社会福祉協議会と北海道共同募金会主催の「平成23年度日高町小学生ボランティアスクール」が開催され、門別ふれあい学童クラブを利用している22人の小学生が参加しました。

開講式の後には、全員で町道沿いのごみ拾いを行い、自分たちの住んでいる町を綺麗にする環境ボランティアについて学習し終了後は外国の子ども達のボランティア活動について学びました。

お昼には流しそうめんを食べ、学習とあわせて、楽しく実りある1日となりました。



## 門別図書館郷土資料館に七夕飾り 震災被害復興など、短冊に願いを込めて…

門別図書館郷土資料館では、カウンター横に七夕飾りが設置されました。

カウンターに設置された短冊は、利用する子ども達が自由に書いて飾ることができ、設置された柳の枝には、色とりどりの短冊がぎっしりと飾られました。

3月に発生した東北地方の震災復興を願うものや、将来の夢など、それぞれの短冊に、子ども達の願いが込められていました。



## 道展会員 千代明さんの立体作品展開催 曲線の美しい立体作品を展示

8月2日、町内在住で道展会員である千代明さんの立体作品展が、門別図書館郷土資料館で始まりしました。

千代さんは豊郷出身で、これまでも絵画を中心に数々のすばらしい作品を手がけてきました。

今回の作品は、鉄の素材に車の塗装塗料をペイントした曲線の美しい立体作品で、来館者が作品の前で足を止め、見入ってしまうような、すばらしいものです。

作品展は、今後も作品を入れ替えながら12月まで開催され、9月4日からは別の作品が展示される予定となっています。